

第1章をわたしたちがガイドします

若ごぼうさん



祖父のひとり暮らしが心配で、福祉に興味を持ち始めた28歳。今後の福祉活動に期待。

えだまめさん



八尾市在住50年。長年、地域の福祉活動にかかわるベテラン！

紅たでさん



八尾市地域福祉政策課職員。地域福祉の推進に日々猛ダッシュ。

教授



地域福祉のスペシャリスト。八尾市の地域福祉の推進に貢献。

1) 計画策定の背景

若ごぼうさんがおじいちゃんのこと、悩んでました。

若ごぼうさん

ちょっと前にうちのおじいちゃんがひとり暮らしになって、心配・・・



紅たでさん



八尾市では、地域住民の方をはじめ、民生委員・児童委員の方や地区福祉委員会、校区まちづくり協議会、自治会、各種ボランティア団体など、さまざまな人たちの参加による地域福祉活動が活発に行われています。きっと若ごぼうさんのおじいさんを支えてくれる人が周りにたくさんいますよ。

えだまめさん



八尾市では、ひとり暮らしの人を誘って、地域で食事会や安否確認をしていますよ。



えだまめさん



若ごぼうさん

集会所におじいちゃんとかが集まっているのは知っていましたが、そういう活動なんですね。



若ごぼうさん

ちなみに「地域福祉」ってなんですか？



紅たでさん

「地域福祉」は、地域で困っている人や課題を持っている人が法律等による福祉サービスだけでなく、地域の人同士がお互いに助けたり、助けてもらったりする地域の福祉活動です。



教授

固い言葉でいうなら、地域において誰もが安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方をいいます。



教授

近年は、高齢化の進行や核家族化、近所づきあいの低下など、さまざまな理由を背景に、この活動が低下している状況です。この地域の助け合いは、これからもっと重要性が増していくので、この活動を推進していくために行政は「地域福祉計画」を作成して、住民の人達と一っしょに取り組んでいくことが重要なんです。

若ごぼうさん

地域の助け合いって難しいのではないですか。



若ごぼうさん



僕は困っていないのですが、かまってほしくない人もいます
じゃないでしょうか……。

教授



そのとおり。助けてほしい人もいますが、中にはかまってほ
しくない人もいます。でも、助けてほしいのに声も出せず苦し
んでいる人もいます。そういう人を地域でみつけて、必要な支
援やサービスにつなげることで生活が楽になる人、毎日が楽
しくなる人もいっぱいいるんだよ。
ある意味、地域福祉は地域の「おせっかい」を強くするもの
だね。

えだまめさん



昔は、インターネットはなかったけど、情報は周りの人達に
教えてもらっていたし、困ったときはよく周りの人に助けて
もらったわ。
昔より便利になったけど、先生のいう「おせっかい」はいつの
時代も大事だと思うわ。

若ごぼうさん



地域福祉じゃないかもしれないけど、小学校のとき、悪いこ
とをしたら近所のおじさんに怒られたことがありました。

教授



ある意味、それも地域福祉かもね。昔は地域のつながりも強か
ったし、地域でこどもを育てるという意識も強かった。

えだまめさん



うちの夫は、退職後は家にこもってテレビばかり観ていたけ
ど、地域の人に誘われて登下校の見守りをやってみたら、とて
も楽しかったみたい。
今でも生き生きとして楽しくやっているわ。

紅たでさん



八尾市では、登下校の見守り活動は活発ですよ。



紅たでさん



若ごぼうさん



こういうのは大事ですね。でも、続けていくのは大変そう。



教授

大変だし、こういう地域活動をしている人の高齢化も進んでいるし、活動している人をバックアップすることも大事。この助け合い活動は一步一步進めることが大事であり、それを進めるために行政は住民の声を聞きながら「地域福祉計画」を作成し、目標を持って住民とともに福祉の推進に取り組む必要があります。

若ごぼうさん



八尾市には「地域福祉計画」ってあるんですか？



紅たでさん

八尾市では、平成 15 年（2003 年）5 月に最初の「八尾市地域福祉計画」を策定しました。今は第 3 次計画で、令和 2 年度（2020 年度）中に次の第 4 次計画を策定します。今度この計画について話し合う機会があるので、若ごぼうさんも参加してみない？

若ごぼうさん



楽しそうですね！

若ごぼうさんは、地域福祉に興味がわいてきました。

2) 策定にあたって（たくさんの声を反映）

若ごぼうさんは、おじいちゃんの心配をきっかけに、
自分も地域福祉計画を話し合う会議に参加してみることにしました。



教授

今回の地域福祉計画の策定にあたって、どういうところを重視したのですか？



紅たでさん

できるだけたくさんの方の意見を反映するために

- ①住民・福祉関係者を対象に令和元年（2019年）12月にアンケート
- ②相談機関を対象に令和2年（2020年）6月にアンケート
- ③地域の福祉関係者※へのヒアリング調査を16か所で行いました。

（※地区福祉委員会、民生委員・児童委員、校区まちづくり協議会）



紅たでさん

あと、先生や住民の方で構成する「八尾市社会福祉審議会」で意見をいただき、できた計画案を公表して住民の方などから意見をいただくパブリックコメントを実施しました。

若ごぼうさん

ちなみにどんなアンケート結果だったのですか？



紅たでさん

いろいろありましたが、さっき先生から近所づきあいが希薄になっているという意見が出ましたが、八尾市でもその状況にあります。いわゆる近所づきあいの深い人は8年前の調査から10%以上少なくなっていました。

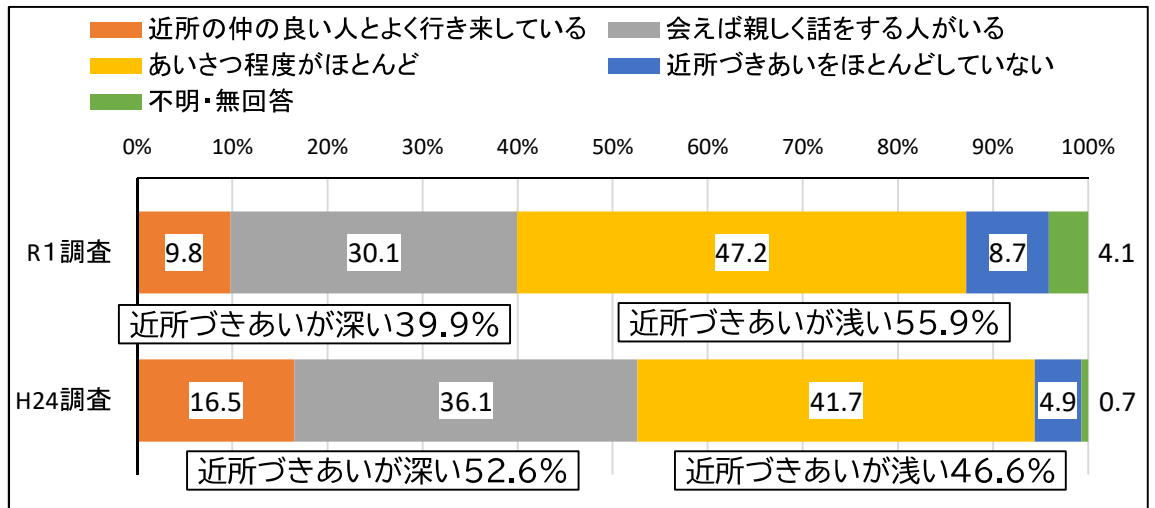


紅たでさん

次のグラフは近所づきあいのアンケート結果です。



紅たでさん



紅たでさん

特に若い方や男性でその傾向が強く、また働いている人も多いせいか、若い人は地域活動への参加率も低くなっています。

若ごぼうさん



僕のような年代が問題ということですね・・・



紅たでさん

いえ、若い人でも約半数ぐらいの人は今後地域活動に参加したいとお答えいただいています。また、若い人は活動に参加するにあたって「自分にあった時間や活動内容」「一緒にする仲間」を求められていることがわかり、よい結果が得られました。



教授

そういう求められていることを行政が一方向的に考えるのではなく、一緒に考えていくことがこの地域福祉計画では大事なことです。



えだまめさん

他にはどういう課題があったのですか？



紅たでさん

福祉関係者へのヒアリングでは、ほとんどの地域で担い手の不足や後継者がいないという意見が多くみられました。また、令和2年（2020年）は新型コロナの影響で地域の食事会や見守り活動など、さまざまな活動に影響があったとのこと。



えだまめさん

食事会とかを楽しみにしている人は残念でしょうね。



紅たでさん

そういった声も多かったと聞いています。
でも、そのような状況の中でもなんとかしようと、各地域でさまざまなアイデアを出し合い、新しい生活様式での活動を展開されているところも多々ありました。
みなさん、苦勞されていますが、そのような中でも楽しく活動されているのが印象的でした。

若ごぼうさん

ポジティブですね！



紅たでさん

おひとり暮らしの方も増えているように思いますし、こういった地域活動は今後、もっと必要とされるかもしれませんね。

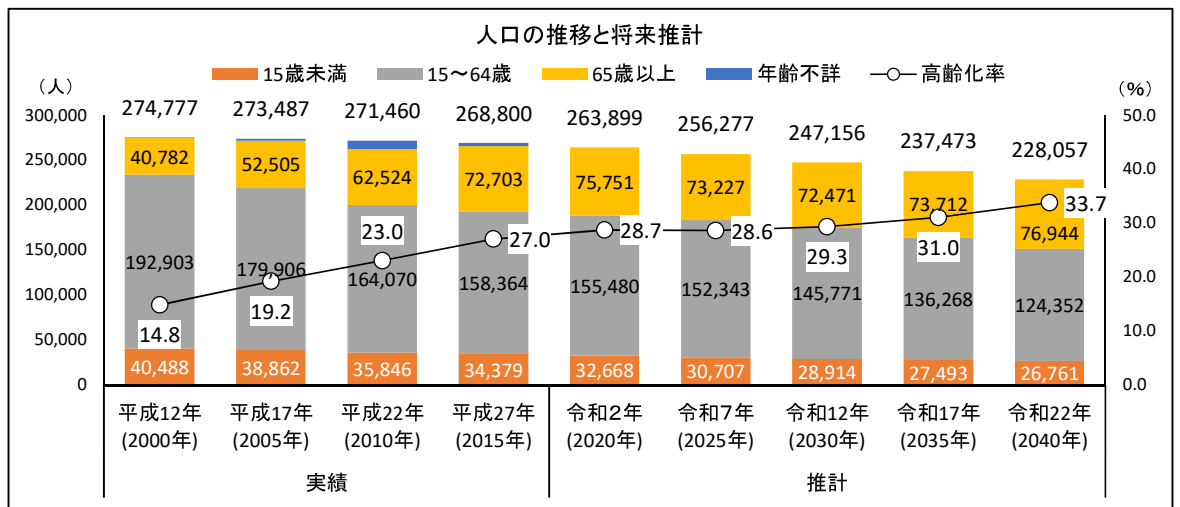


紅たでさん

次のグラフは八尾市の人口の推移と将来推計です。
65歳以上の高齢の方が多くなっています。



紅たでさん



えだまめさん

今後、どうなるか、不安になります。



教授

人口減少や少子高齢化は八尾市だけでなく、全国的な状況です。社会保障も今後どうなるかわからない中、行政による支援だけでは住民生活を守ることは難しくなっています。行政には、もちろんがんばってもらいますが、自分でできることは自分で行う、地域でできることは地域ですといった、まさしく地域福祉の取組を進めることが安心して暮らせる八尾市につながるのです。

若ごぼうさん



自分に何ができるかわかりませんが、できることからやってみようと思います。

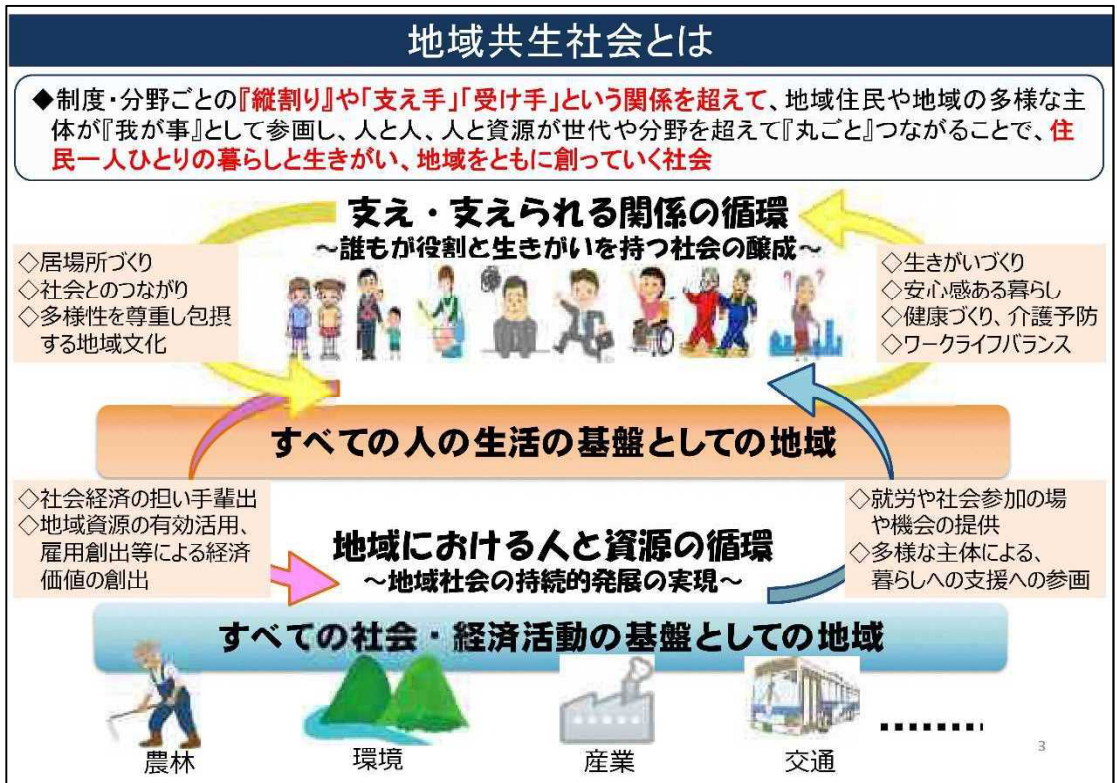


教授

ぜひ、がんばってください。
社会構造や人々の暮らしが日々変化する中で、高齢期になっても、支援を必要とする状態になっても、誰もが「支え手」「受け手」といった関係を超えて、お互いさま、一緒に住みよいまちをつくっていく「地域共生社会」をつくっていくことが大事なのです。
次の図は厚生労働省が示した「地域共生社会」の実現に向けたイメージです。



教授





紅たでさん

おっしゃるとおり、今回の地域福祉計画では「地域共生社会」の実現に向けて、住民や地域、福祉関係者など、さまざまな人たちとの連携・つながりを強化しながら、住みよいまちづくりに取り組んでいきます。



教授

今回作る計画や市内で取り組まれているいい活動も広く普及していただきながら、よりよい地域福祉活動の展開、住みよいまちづくりに取り組んでいただければと思います。
みなさんも、地域の福祉活動に興味と関心を持っていただき、楽しく福祉活動に携わっていただければいいですね。

若ごぼうさん



なるほど、はじめはひとりになったおじいちゃんが心配だったけど、「地域共生社会」の中で、地域の人たちが見守ってくれたりすることで、住みよいまちになってくれたらおじいちゃんも安心して暮らせますね。

さっそく若ごぼうさんは地域の見守り活動に参加してみることにしました。

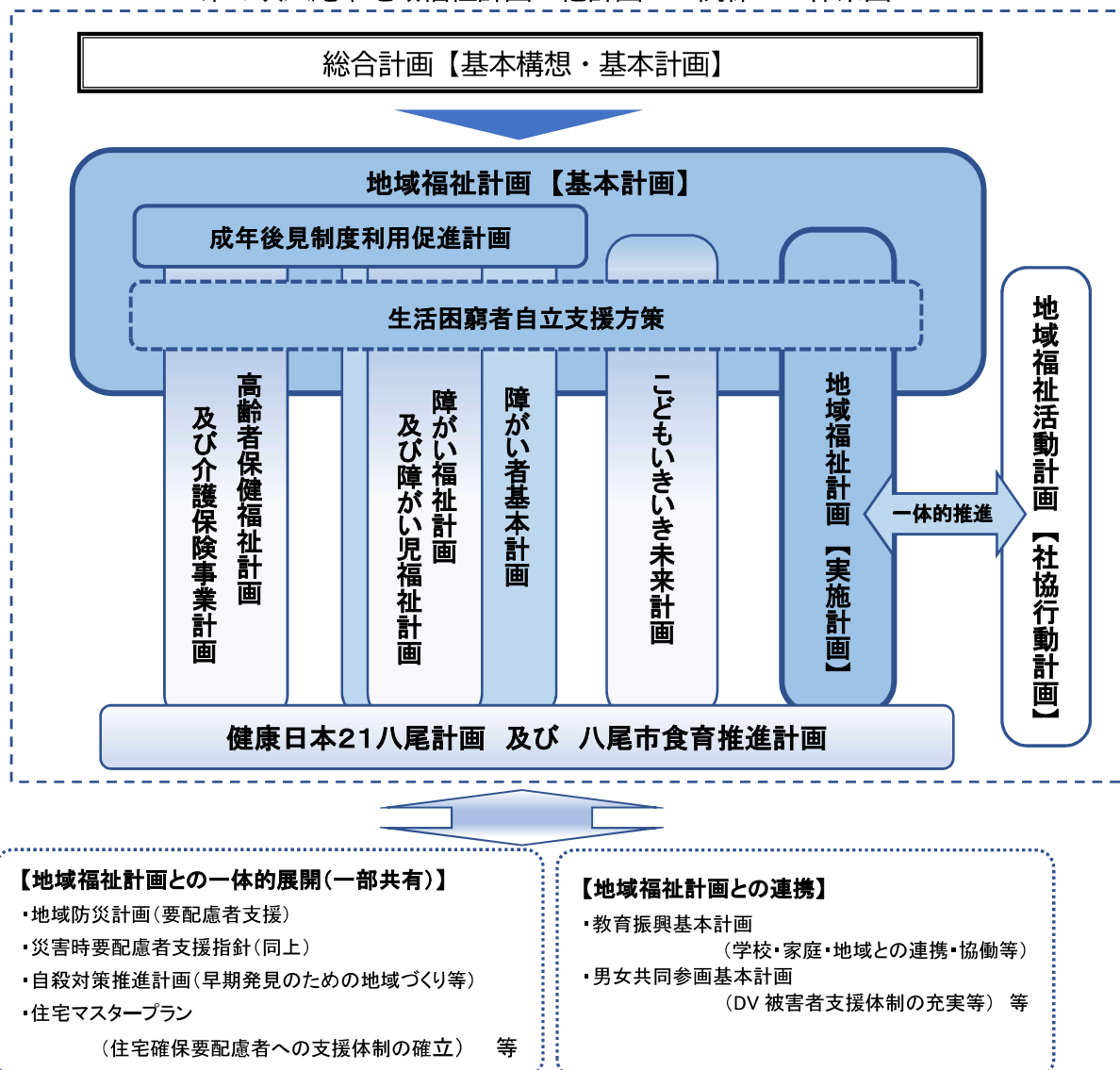
3) 計画の位置づけ



紅たでさん

- この計画は、社会福祉法第 107 条の規定による市町村地域福祉計画です。
- 地域共生社会の実現に向けた平成 30 年（2018 年）4 月施行及び令和 3 年（2021 年）4 月施行の社会福祉法の一部改正の趣旨を踏まえてつくります。
- 総合計画の内容を踏まえてつくります。
- 市の福祉計画の方向性を決めています。
- 地域において福祉の各分野が共通して取り組むべき事項などを記載します。
- 福祉以外の計画との一体的展開や連携の方針を定めます。
- 成年後見制度と生活困窮に対する取組を盛り込みます。
- 八尾市社会福祉協議会（以下、「社協」という。）の「地域福祉活動計画」と一体的に地域福祉を推進するものです。

第 4 次八尾市地域福祉計画と他計画との関係 <体系図>



4) 計画の期間



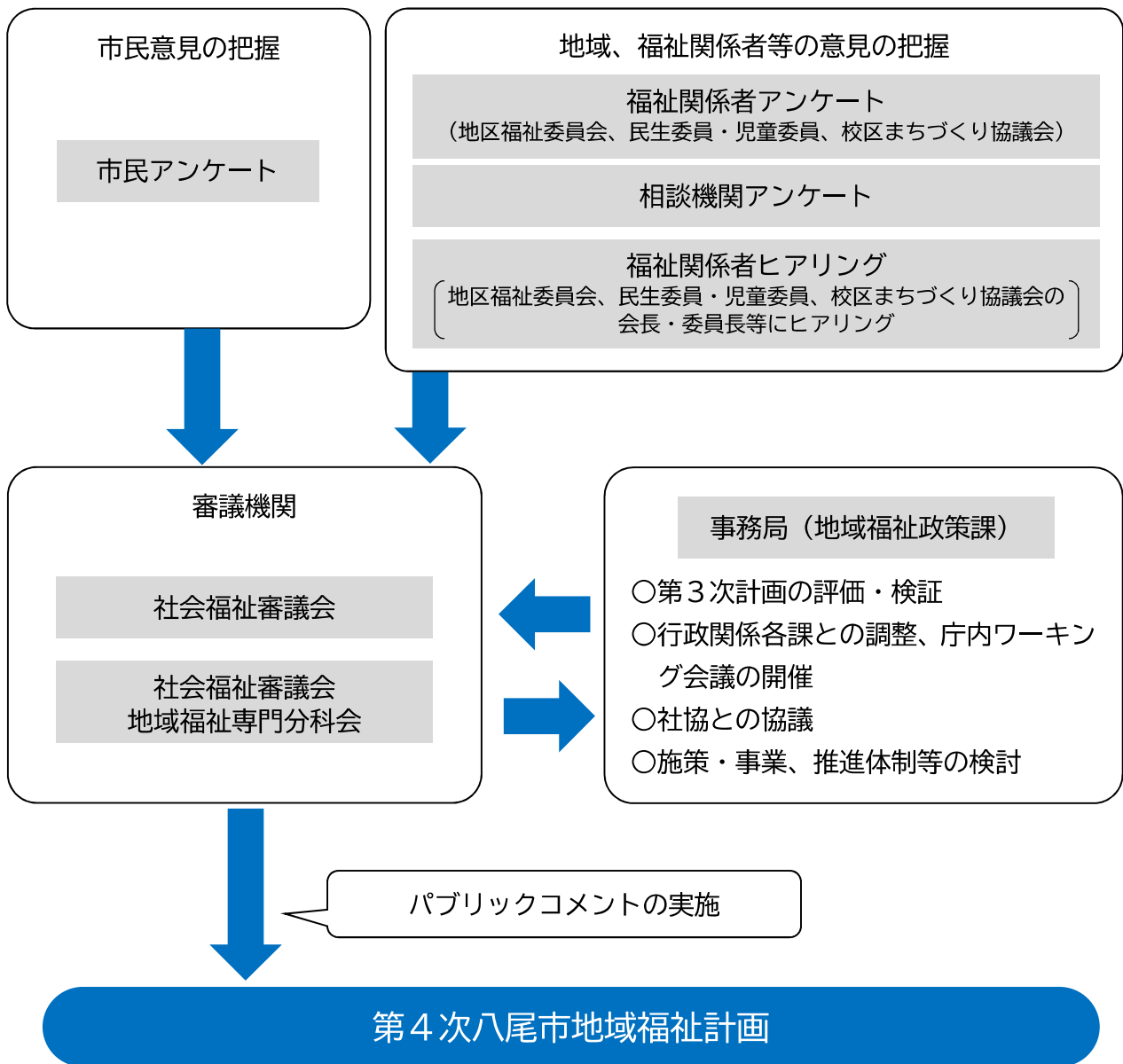
紅たでさん

この計画は令和3年度（2021年度）から令和10年度（2028年度）までの8年間です。

なお、計画期間の中間年には、前期の実行計画の推進状況、社会情勢やニーズ、各種法制度等の変化を踏まえ、総合的に評価を行い、計画の変更が必要となった場合は見直すものとします。

	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)	令和 7年度 (2025年度)	令和 8年度 (2026年度)	令和 9年度 (2027年度)	令和 10年度 (2028年度)
第6次 総合計画	基本構想							
	前期基本計画				後期基本計画			
地域福祉計画	第4次 (中間年に評価、見直し)							
社会福祉協議会 地域福祉活動計画	第4次 (中間年に評価、見直し)							
高齢者 保健福祉計画及び 介護保険事業計画	第8期			第9期			第10期	
障がい者基本計画	第4期 前期計画				第4期 後期計画			
障がい福祉計画	第6期			第7期			第8期	
障がい児福祉計画	第2期			第3期			第4期	
こどもいきいき 未来計画	後期計画				未定			

5) 策定の流れ



いろいろな人の意見で
できているんだなあ

